

## スマート農業実証プロジェクトのアウトリーチ活動を実施しました

資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループ上級研究員 芦田敏文

当研究部門が参画する「スマート農業実証プロジェクト・多面的機能向上スマート水管理実証コンソーシアム」では、山形県河北町にて ICT を用いた田んぼの水管理技術を中心としたスマート農業技術の実証を行っています。

10月に実証地で開催された「河北町水土里 power フェスティバル (9日)」「かほくほくほくまつり (16日)」に出展し、2回のアウトリーチ活動を実施しました。

9日は、自動給水栓とパイプライン配水の模型を会場に展示してその仕組みを分かりやすく説明しました。

また9日・16日の両日、本コンソーシアムの取り組みから期待される3つの外部効果（①スマート水管理技術による田んぼの水回り作業の車両燃料削減効果、②田んぼダムによる被災リスクの低減、③ふゆみず田んぼによる冬鳥飛来など生物多様性保全効果）について動画を用いて説明した上で、本技術で栽培されたお米の評価に関する簡単なアンケート調査を実施し、本コンソーシアムの技術に対する消費者の理解を深めました。



10月9日 河北町水土里 Power フェスティバル



10月16日 かほくほくほくまつり